

りそな 経済フラッシュ

(日本1-3月期GDP1次速報値)

◎注意事項をよくお読み下さい

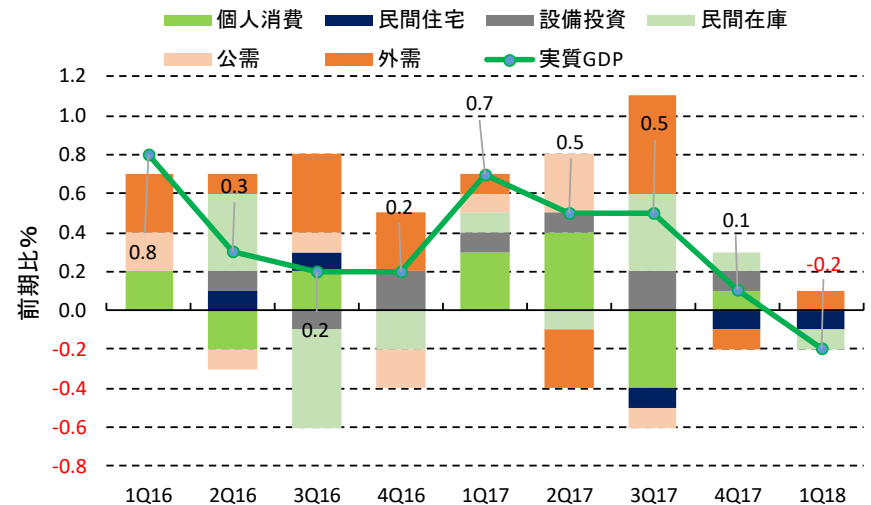


〇 概況

- ◆ 1-3月GDPは前期比▲0.2%と市場予想を下回り、9四半期ぶりのマイナス成長
- ◆ 天候不順で個人消費が低迷、設備投資、輸出も減速が目立った
- ◆ GDPデフレーターは+0.5% (10-12月期+0.1%)

- ✓ 5月16日内閣府発表の2018年1-3月期実質GDP1次速報値は、前期比▲0.2% (年率▲0.6%)と市場予想 (前期比+0.0%、年率▲0.1%) を下回り、9四半期ぶりのマイナス成長となった。天候不順による個人消費の低迷や海外経済の減速を受けた低調な輸出、設備投資も6四半期ぶりのマイナスとなりGDPを押し下げた (右図)。実質GDPに対する寄与度では、民間需要が6四半期ぶりのマイナスとなった。GDPデフレーターは前年同期比+0.5%となった。
- ✓ 個人消費は前期比▲0.0% (寄与度▲0.0%ポイント：以下pp、10-12月期+0.2%) とほぼ市場予想通り (+0.0%)。悪天候により弱い動きとなった。耐久財消費が▲0.3% (10-12月期+2.2%) とマイナスに転じたが、サービス消費が+0.3% (10-12月期+0.2%)と2四半期連続のプラスとなった。
- ✓ 民間住宅は前期比▲2.1%と3四半期連続の前期比マイナスとなった (寄与度▲0.1%pp、10-12月期▲2.7%)。
- ✓ 設備投資は前期比▲0.1% (寄与度▲0.0pp、10-12月期+0.6%) と市場予想 (+0.4%) を大きく下回り6四半期ぶりのマイナスとなった。
- ✓ 公的需要は前期比+0.0% (寄与度+0.0pp、10-12月期▲0.1%)。政府消費が+0.0% (寄与度+0.0pp)、公共投資が+0.0% (寄与度+0.0pp)。
- ✓ 外需 (輸出 - 輸入 = 純輸出) の寄与度は+0.1ppと2四半期ぶりのプラスとなった。輸出が前期比+0.6% (10-12月期+2.2%) と3四半期連続のプラスとなったが、海外経済が落ち込みテンポは鈍化。輸入も+0.3% (10-12月期+3.1%) と2四半期連続のプラスとなったが牙えない動き。
- ✓ GDPデフレーターは前年同期比+0.5% (10-12月期+0.1%)。市場予想 (+0.3%) を上回った。国内需要デフレーターは+0.9% (10-12月期+0.6%)。

【実質GDP成長率 需要項目別 (前期比)】



	前期比	2017				2018
	寄与度%pp	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
実質GDP		0.7	0.5	0.5	0.1	-0.2
民需		0.5	0.5	0.1	0.3	-0.2
個人消費		0.3	0.4	-0.4	0.1	-0.0
民間住宅		0.0	0.0	-0.1	-0.1	-0.1
設備投資		0.1	0.1	0.2	0.1	-0.0
民間在庫		0.1	-0.1	0.4	0.1	-0.1
公需		0.1	0.3	-0.1	0.0	0.0
政府消費		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
公共投資		0.0	0.2	-0.1	0.0	0.0
公的在庫		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
外需		0.1	-0.3	0.5	-0.1	0.1
輸出		0.3	0.0	0.3	0.4	0.1
輸入		-0.2	-0.3	0.2	-0.5	-0.1

【出所】内閣府、IN情報センター

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客さまご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。